

## 志賀原子力発電所 1号機 非常用ガス処理系 排ガスモニタサンプリング装置の不具合について

志賀原子力発電所 1号機（第 13 回定期検査中）において、2022 年 10 月 13 日（木）13 時 50 分、非常用ガス処理系<sup>※1</sup>（事故発生時に放射性物質が放出されることを防止する設備。以下、「SGTS」。）の排ガスモニタサンプリング装置<sup>※2</sup>の異常を示す警報が発生しました。

調査の結果、当該サンプリング装置に使用している加熱ヒータ<sup>※3</sup>が断線していることを確認したことから、今後、取替を実施します。

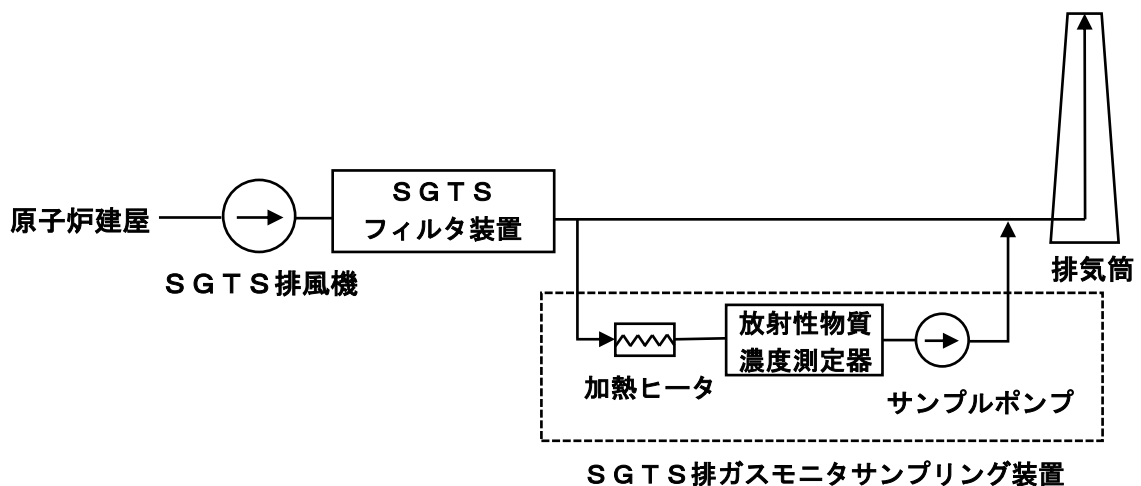
今回の不具合による外部への放射能の影響はありません。

なお、現在、原子炉は停止中であり、燃料を取り扱う作業も行わないことから、当該サンプリング装置が停止していても、発電所の安全性に問題はありません。

※1：原子炉運転時や燃料を取り扱う作業を行う場合に正常に機能することが求められる設備

※2：SGTSの排気中の放射性物質濃度を測定するための装置

※3：空気の相対湿度を低下させ、測定する放射性物質の捕集効率を向上させることを目的として設置しているヒータ



SGTS 排ガスモニタサンプリング装置 概略図